

5月末まで
700軒超 仮設住宅アンケートもとに衆院災害特委で共産党
田村貴昭議員が質問

共同支援センターは5月末までに69カ所(9割)の仮設住宅を訪ね、700軒以上から要望を聞き取りしてきました。6月1日、共同支援センターと仮設住宅を訪ねた日本共産党の田村貴昭衆議院議員は、5日の衆院災害対策特別委員会でアンケートの声を紹介し、仮設住宅の生活環境の改善を求めました。

仮設住宅へ配食サービスなど検討 防災担当大臣が答弁

仮設に入ると食事支援が
なくなる問題で

仮設住宅に入居すると「自立」が強調され、それまでの弁当や炊き出しなどの食事支援が打ち切られることが大きな問題になっています。

田村議員は「近くに買い物できるところが無い。車が無く交通手段がない高齢者は遠くのスーパーまで行けない。運転できる人も、津波・地震等で車を失った方も少なくない」と指摘し、能登の地域的な特質と被災者の窮状を踏まえ、新たな支援策を検討すべきだと求めました。

松村祥史防災担当相は「食事を確保できない入居者が配食サービスを受けられるよう、市町と連携して対応したい」と答弁しました。

見守り事業の中で、買い物や
食事の実態把握と支援を

孤独死が起きた輪島市門前の仮設住宅も訪ねた田村議員は、厚労省の被災者見守り・相談支援事業で、仮設住宅に入居した高齢者、単身者、障がい者への声掛けが大事だとして、その中で買い物や食事に不便されていないか、要求をしっかりとくみとって支援につなげるよう求めました。

エアコン 2台目設置

「入居者の判断で設置は可能」

仮設住宅のエアコンが1台では足りない、もう1台入れようとしたが、壁に穴を開けるのはダメだといわれたという声を紹介。内閣府の高橋謙司政策統括官は「2台目のエアコンを設置することの可否について、国として特段の制限は設けていない。入居者の判断で設置は可能」と答え、被災自治体にその旨周知すると述べました。

壁掛けの時計、カレンダーも可能

また、高橋統括官は「仮設住宅の壁にカレンダー、壁掛け時計をつけることの可否についても、国として特段の制限は設けていない。入居者の判断で設置することは可能」とし、これも被災自治体に周知すると答えました。

壁に穴を開ける
ことは問題ない

内閣府は、これらの答弁の主旨、仮設住宅の壁に穴を開けるのは問題ないことなどを県を通じて能登の自治体に徹底しています。

「仮設は2年で追い
出されることはない」

防災担当大臣が答弁

田村議員の質問に対し松村防災担当大臣は、「未だにこの間(被災地)にお邪魔したときに、仮設は2年で追い出されるのですか」という発言があったが、いやいや決してそんなことはない、と答えたエピソードを紹介しました。

